



Choose the future in MIYAGI

みやぎ 情報通信関連 企業立地ガイド

北日本最大級のターミナルから
ビジネスチャンス



INDEX

- ① **マップで見る宮城県** 2
陸・海・空のアクセス網がますます充実
- ② **数字で見る宮城県** 3
東北の政治・経済・産業の中心地として
- ③ **オフィスビル等の現況** 4
ビジネスに最適なオフィスビルが多数
- ④ **宮城県の教育機関** 5
学生が多く、若い力にあふれる
- ⑤ **教育機関からのメッセージ** 6
- ⑥ **宮城県の人材確保・育成** 7
行政だけではなく、地域でもデジタル人材育成が盛ん
- ⑦ **立地企業への支援** 9
様々な支援・環境が充実
- ⑧ **立地企業の声** 11
- ⑨ **生活環境としての宮城県の魅力** 13
一年を通じて快適に過ごせる宮城県
- ⑩ **宮城県知事からのメッセージ** 15

マップで見る宮城県

宮城県は、東京から北東に向かって約300キロに位置し、陸・海・空のアクセス網が充実しています。県内も南北、東西の広域網が整備され、災害時にあっても信頼性の高い広域道路ネットワークが完成しています。





Choose the future in MIYAGI

数字で見る宮城県

政令指定都市の仙台を抱える宮城県は人口約228万人。東北の政治・経済・産業の中心地として、今後ますます発展の可能性を秘めています。

全国14位

総人口 (推計人口) **228万人**

※令和4年10月1日現在 総務省統計局の推計人口より

全国14位

生産年齢人口 **136万人**

※令和4年10月1日現在 総務省統計局の推計人口より

県内総生産(名目) **9兆6,496億円**

※令和3年度 宮城県民経済計算より

全国16位

民営事業所数 **95,305事業所**

全国12位

情報通信関連事業所数 **801事業所**

※令和3年 経済産業省の「経済センサス-活動調査」より

全国14位

民営事業所従業者数 **1,031,186人**

全国11位

情報通信関連従事者数 **15,832人**

※令和3年 経済産業省の「経済センサス-活動調査」より

有効求人倍率 令和5年平均 **1.37倍**

※令和6年1月30日宮城労働局「宮城県の一般職業紹介状況」より

情報処理・通信技術者 **2.33倍**

事務従事者 **0.37倍**

※令和5年12月 宮城労働局「求人・求職バランスシート」より

県内で就職したい学生がたくさんいます

宮城県内における新規大学等卒業生の職業紹介状況を見てみると、県内への就職希望者のうち実際に県内に就職できるのは約8割となっています。

◎就職希望者数

県内**8,084人** 県外**9,347人**

◎就職決定(内定)者数

県内**6,778人** 県外**9,919人**

※宮城労働局「令和5年3月新規大学等卒業生の職業紹介状況」より

今、産業界が活気づいています!

このたび、JSMCホールディングス株式会社による半導体製造工場の建設予定地が第二仙台北部中核工業団地に決定しました。

これを機に関連産業のさらなる集積が見込まれるなど、地域経済にも大きな効果をもたらすと期待されます。



オフィスビルの現況

県外からのアクセスがよく、ビジネスを展開するうえで恵まれた環境の中、仙台市内には、快適なオフィスビルの新規開設が続いています。

◎全国6大都市圏のオフィスビル比較

仙台	推定成約賃料 11,839円/坪 (空室率4.95%)
東京	推定成約賃料21,934円/坪(空室率7.04%)
名古屋	推定成約賃料13,467円/坪(空室率5.38%)
大阪	推定成約賃料12,827円/坪(空室率4.41%)
福岡	推定成約賃料15,619円/坪(空室率3.75%)
札幌	推定成約賃料11,659円/坪(空室率1.35%)

※ビルディンググループ 2022年3月度調査レポート「全国6大都市圏 オフィスビル市況調査」より



アーバンネット仙台中央ビル

©川邊・小林研二写真事務所



ヨドバシ仙台第一ビル

© Yodobashi holdings Co.,Ltd. All Rights Reserved.

宮城県内のワーキングスペース

令和5年6月現在、宮城県内には16市町に45か所のワーキングスペースが県内一円に広がっています。

一例として

◎富谷市まちづくり
とみぶら
産業交流プラザ「TOMI+」
利用料 ブース席:30,000円/月(個室)
フリー席:10,000円/月

◎IRORI 石巻
利用料 5,000円/月(メンバースペース)

※令和5年6月22日現在 宮城県経済高工観光部中小企業支援室「宮城県のワーキングスペースの御案内」より

- ▶ 仙台市 23箇所
- ▶ 石巻市 2箇所
- ▶ 気仙沼市 3箇所
- ▶ 白石市 2箇所
- ▶ 角田市 1箇所
- ▶ 登米市 1箇所
- ▶ 栗原市 2箇所
- ▶ 大崎市 2箇所
- ▶ 富谷市 2箇所
- ▶ 柴田町 1箇所
- ▶ 川崎町 1箇所
- ▶ 丸森町 1箇所
- ▶ 亘理町 1箇所
- ▶ 利府町 1箇所
- ▶ 美里町 1箇所
- ▶ 女川町 1箇所





Choose the future in MIYAGI

宮城県の教育機関

宮城県は全国的に見ても学生の多い県となっています。

大学学生数 57,087人(全国12位)

令和5年度学校基本調査(文部科学省)より

教育機関

宮城県には、初めて国際卓越研究大学の認定候補となった東北大学や、公立大学である宮城大学をはじめとして、多数の教育機関が集積しています。

◎大学・短期大学

【県内】東北大学、宮城大学、宮城教育大学、東北学院大学、東北工業大学、東北福祉大学、宮城学院女子大学、石巻専修大学、仙台白百合女子大学、東北文化学園大学、尚絅学院大学、聖和学園短期大学、仙台青葉学院短期大学 他

【県外】弘前大学、岩手大学、岩手県立大学、秋田大学、国際教養大学、山形大学、東北芸術工科大学、福島大学、会津大学 他



次世代放射光施設 ナノテラス

◎高等専門学校

【県内】仙台高等専門学校

【県外】一関工業高等専門学校 他

◎専門学校等

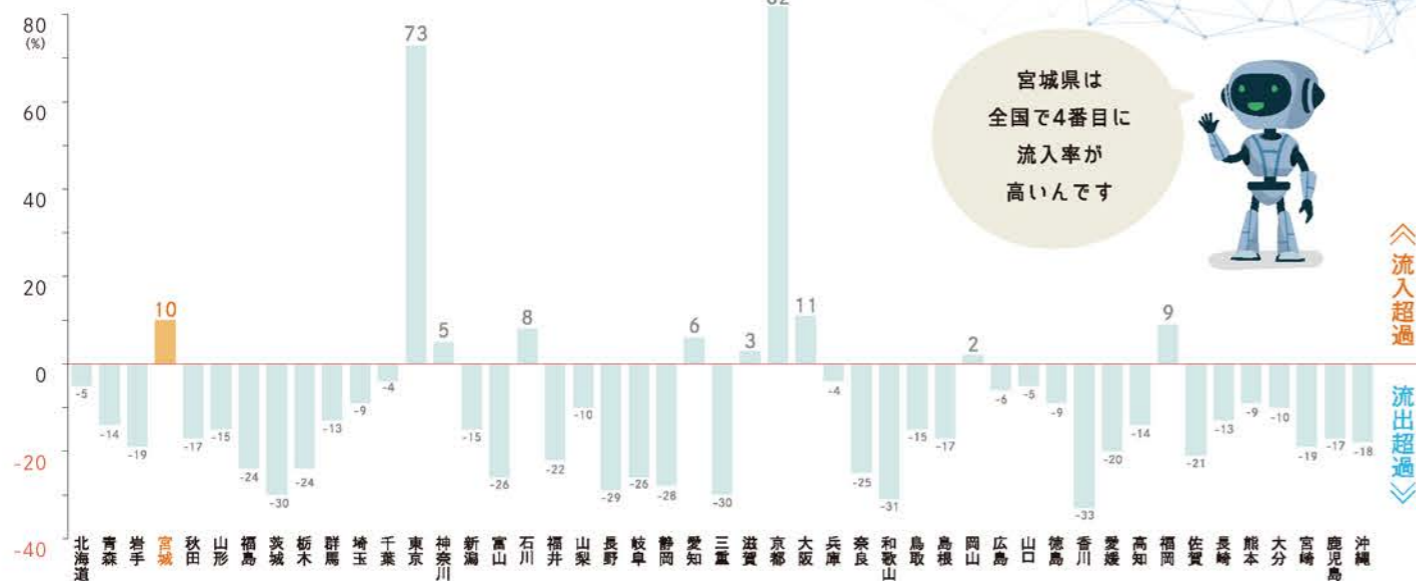
専門学校デジタルアーツ仙台、東北電子専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校、東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校、仙台医療秘書福祉IT専門学校、仙台デザイン&テクノロジー専門学校、ヒューマンアカデミー仙台校 他

◎公共職業能力開発施設

白石高等技術専門学校
東北職業能力開発大学校(東北ポリテクカレッジ) 他

大学進学時の都道府県別流入・流出率

大学進学時の流入者・流出者の割合を見ると、流入超過は全国で10都府県のみであり、また北海道・東北の中では唯一宮城県のみとなっています。



※文部科学省「学校基本統計(令和2年度)」より

教育機関からのメッセージ



東北学院大学

全学を挙げてデータサイエンス教育を推進

本学は2022年度まで、泉キャンパスに教養学部情報科学科を設置し、多賀城キャンパスには工学部情報基盤工学科を設置していました。この両学科は、2022年度末をもって学生募集を停止することとなりましたが、2023年度の五橋新キャンパスの開学とともに、未来のソフトウェアエンジニアや通信エンジニアだけでなく、データサイエンティストの育成をも目指す情報学部データサイエンス学科を新しくスタートさせました。当該学科は、大学内の講義だけを受講するのではなく、実社会のデータを利活用しながら研究を進め、その結果を地域社会に還元できるような教育コースを導入しています。

また、データサイエンス学科だけではなく、本学に2023年度以降に入学する学生は、教養教育課程(TGベース)の中で、文部科学省から認定された「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」(通称MDASH)を受講することも可能となり、全学を挙げてデータサイエンス教育を推進しています。

- 所在地 〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1(土樋キャンパス)
※土樋キャンパスの他、五橋キャンパス(仙台市若林区)、泉キャンパス(仙台市泉区)を有する。
- 設立 1886年(仙台神学校として開校)
- URL <https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>
- 2022年度卒業生数: 情報通信に関わる分野では、教養学部情報科学科から107名、工学部情報基盤工学科から103名の卒業生を輩出



石巻専修大学

地域に根ざして世界に尖った大学へ

本学の情報電子工学科には情報通信コースと電気電子コースがあり、幅広い教養と専門性を両立する教育を実践しています。特に情報通信コースでは、IoT、AI/人工知能などの専門知識を身につける教育を要としています。定員一人あたりの教育資源が充実し、学生一人ひとりに行き届いた丁寧な指導を行っています。地域との連携については、学内に大学開放センターと共創研究センターを設置。「地域に根ざして世界に尖った大学」をブランドスローガンに掲げ、地域社会の知的基盤を支えながら、世界に成果を発信することを目指しています。2020年度の改組では、経営学部情報マネジメント学科が創設されました。また、2022年度の改組によって、工学系2学科(機械工学科・情報電子工学科)で横断的な教育プログラムを展開しています。2025年度からAI・IoT・ものづくり・モビリティの学びを融合し、少人数による課題解決型プロジェクト実習の授業を開始します。

- 所在地 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1番地
- 設立 1989年4月1日
- URL <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>
- 2023年度情報電子工学科卒業生数: 39名(9月卒11名含む)



東北工業大学

未来のエスキースを描く。—東北の未来を描く学生育成—

本学は1964年の創設以来3万人を超える卒業生を輩出し、日本の、とりわけ東北地域の産業・経済の発展に大きく貢献してきました。これまで工学部情報通信工学科を中心に、宮城県の情報通信関連業界で活躍する人材を数多く送り出してきた実績があります。同学科では、情報処理技術や通信技術、コンピュータネットワーク、音響や画像処理技術など、情報と通信の両分野を体系的に学ぶカリキュラムを構成しています。また、本学では学生が実践的なスキルを身につけることができるよう、共同研究だけでなくインターンシップやキャリア教育など、様々な分野で企業や自治体等と共働する機会も提供しています。地元との連携を深め、在学中から実践的な場で学びを得る学生が多くいるのも特徴です。

2025年4月、本学は情報通信技術の急速な進展による社会の構造変革など今後大きく変化する社会に柔軟に対応するため、北海道・東北地方の工系系大学で初めて工学部を「学科制」から「課程制」へ移行します(改組構想中)。ひとつの専門分野だけでなく、複数の分野にわたる知識とスキルを獲得した技術者、東北の発展に貢献し続ける次世代のリーダーを育ててまいります。

- 所在地 〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香瀬町35-1(八木山キャンパス)
※八木山キャンパスの他、長町キャンパスを有する。
- 設立 1964年4月
- URL <https://www.toitech.ac.jp/>
- 2023年度卒業生数: 735名(うち工学部情報通信工学科は100名)



仙台高等専門学校

実践的な学習で高い能力と国際感覚を有する技術者を養成

情報・電子系の広瀬キャンパスおよび機械・電気・材料・建築に関するものづくりを中心とした名取キャンパスから構成され、15歳から始まる5年間一貫の実践的な学習で高い能力と国際感覚を有する技術者を養成しています。広瀬キャンパスには、情報システム・情報通信・知能エレクトロニクスの3コースがあり、情報通信関連技術(プログラミング、ソフトウェア、マイクロコンピュータ、ネットワーク技術、IoT、AI等)を学習します。実験・実習、PBL型授業や卒業研究等などの実践的な教育プログラムに取り組んだ学生が毎年輩出されています。また、仙台高専産学連携振興会による産学連携活動、共同研究や技術相談等の受け入れ、専攻科における課題解決型インターンシップによる地域の発展・課題解決を目指した地域連携事業も行っています。情報通信産業で活躍する実践的で創造的な人材の育成・輩出とともに、研究・地域連携活動に取り組んでいます。

- 所在地 〒989-3128 宮城県仙台市青葉区愛子中央4丁目16番1号(広瀬キャンパス)
〒981-1239 宮城県名取市愛島塩手字野田山48番地(名取キャンパス)
- 設立 2009年10月(宮城高専と仙台電波高専の高度化再編により設立)
- URL <https://www.sendai-nct.ac.jp/>
- 2023年度卒業生数(広瀬キャンパス): 118人
- 2023年度卒業生の進路(広瀬キャンパス): 就職76名、進学(大学3年次編入及び専攻科入学): 38名



宮城県では、県内の情報通信関連産業における人材確保や人材育成に向けて様々な取り組みを行っています。また、行政だけでなく、地域でもデジタル人材育成が盛んに行われています。

宮城県が行っている取り組み

みやぎIT産業認知度向上支援事業

学生に対してIT産業や企業の魅力を伝える取り組みを支援することで、学生の県内IT企業への就業を図っています。

新卒者等未経験者向け基礎研修

県内のIT企業に新たに採用された方に、情報系出身、非情報系出身向けの研修をそれぞれご用意しています。(受講無料)
(内容)IT業界人としてのヒューマンスキル、WEBアプリケーション開発(基礎)等

中堅層向け開発技術スキルアップ研修

中堅層の方のスキルアップにご活用いただける研修をご用意しています。(受講無料)
(内容)WEBアプリケーション開発(応用)、システム開発実践(応用)等

地域高度デジタル人材育成研修

DX推進やデジタルビジネスの創出に関わる方向けの研修をご用意しています。(受講無料)
(内容)高度専門知識・技術研修、DX推進支援等実践研修 等

地域で行われているデジタル人材育成の取り組み

県以外にも、この地域では様々な方が意欲的にデジタル人材の育成に取り組んでいます。

とうほくプロコン

①全ての子ども達にきっかけと可能性を

「誰一人取り残すことなく、楽しいICT 体験を提供する」「宮城や東北からたくさんクリエイティブな将来人材を育てよう」。ICTを使って身近な地域課題を解決しながら、子ども達の「好き」を育てているのは「とうほくプロコン実行委員会」の皆さんです。

東北在住の小中学生を対象としたプログラミングコンテスト「とうほくプロコン」の前身である「みやぎプロコン」は2019年にスタート。「やってみよう」を合言葉に、コンテストのほか、放課後の教室を利用した「放課後ICT活動」など様々なイベントを展開し、地域全体で子どもたちの可能性をサポートしています。

「ICTを単に学ぶのではなく、活用することで身近な課題を解決しようとするのが重要」「全ての子ども達にきっかけと可能性を与えたい」。そう語るのは、「親方」の名で親しまれている代表の荒木義彦さん。「地域で可能性を広げた子ども達が、やがて地域に戻り、ICT体験の楽しさを伝えていく。そんな循環を目指したいですね。」

子どもと大人が共に成長しながら、宮城県発の新たな人材育成を目指します。

■プロジェクト名:とうほくプロコン

<https://tohoku-procon.jp/>

■運営主体:

とうほくプロコン実行委員会(社団化予定)



ワークショップ



参加者の集合写真

表彰式

たねまきみのるとたねまきみのり

①出会いと学びと表現の場を

プログラミングを学びたい全ての生徒に、出会いと学びと表現の場を提供したいという思いから、2023年度より活動を始めた宮城県高校プログラミング人材育成プロジェクト「たねまきみのるとたねまきみのり(通称「たねみのり」)」。一風変わったプロジェクト名には、種から芽が出て育つように、高校生たちが将来の選択肢の幅を広げ、これからのDX時代を支える人材に育ってほしいという願いが込められています。

2023年度は宮城県内5つの高校でプログラミング学習の場を提供。「プログラミングは武器。ITの基礎となるものですが、環境に関係なく、自分次第で世の中を変える仕組みを作ることできます。いずれは宮城県内の全ての高校でたねみのりを展開したいですね」と語るのは、プロジェクトを運営する株式会社イトナブの代表取締役・古山隆幸さんです。

ITに興味のある高校生たちが何かを始めようとするとき、「場」と「きっかけ」があれば、未来は拓かれるはず。地域で学んだ若者が地域の産業を支える土壌は、宮城の地でしっかりとつくられています。

■プロジェクト名:

たねまきみのるとたねまきみのり

<https://tanemino.com/>

■運営主体:株式会社イトナブ



石巻ハッカソン



パソコン部内での勉強会



プログラミングと出会う場「たねみのり」のWEBサイト

みやぎAI部

①地域の地域による地域のための取り組み

あつ、まだ中身がドロドロだー!! 温かな歓声に包まれながら「ゆでたまごAI実験」に夢中なのは、「みやぎAI部」に参加している高校生たちです。卵を茹でる際の温度変化や時間から、卵の中身の状態をAIで予測しようというものです。

みやぎAI部は、お隣の山形県での「やまがたAI部」の取組を参考に、2023年10月に活動をスタート。地域のデジタル化を推進する上で、すそ野の拡大は急務という思いから、宮城県内の高校生・高専生対象に、オンラインでAIに関する学習を続けてきました。「ゆでたまごAI実験」は、メンバー同士がリアルで顔を揃えての開催となりました。

「大切なのはやってみること、試してみる」と語るのは、みやぎAI部発起人会の竹川隆司さんです。「学ぶことが目的ではなく、テクノロジーを手段として課題を解決していくことが大きな狙いです。AIは、最も社会課題の解決に近いツールの一つ。次世代を担う皆さんにも共に学んでいただきたいながら、地域をもっと元気にしていきたいですね。」

地域の地域による地域のための取り組みとして、みやぎAI部はこれからも進化を続けます。

■プロジェクト名:みやぎAI部

■運営主体:

みやぎAI部発起人会
(宮城県内企業・団体の有志で結成)



参加者の集合写真



教室での受講の様子



実験風景



宮城県情報通信関連企業立地促進奨励金

ソフトウェアなどの設計や開発機能を有する情報通信関連企業の初期投資軽減への支援を行っています。

◎対象となる企業(情報通信関連事業所のうち)

- ①ソフトウェア業又は知事が適当と認めるこれに類する業を行う事業所のうち、開発拠点又は本社等に該当するもの。
- ②事務業務オフィス(バックオフィス、BPOオフィスなど(コールセンターは除く))。

◎交付の要件

①投下固定資産等奨励金(事務業務オフィスは除く。)

新設した事業所に係る投下固定資産相当額(※)が1,000万円(政令市・中核市を除く市町村に開発拠点又は本社等を新設する場合は150万円)を超えること

※開設日の翌年1月1日現在における投下固定資産額(家屋及び償却資産に限る)+土地・建物・設備機器賃料の5年分相当額

②雇用奨励金

(1)開発拠点又は本社等:対象となる事業所の開設日から1年(若しくは2年、3年)経過した日に5人以上(政令市・中核市を除く市町村に開発拠点又は本社等を開設する場合:3人以上)雇用していること

(2)事務業務オフィス:対象となる事業所の開設日から1年(若しくは2年、3年)経過した日に10人以上(政令市・中核市を除く市町村に事務業務オフィスを開設する場合:5人以上)雇用していること

◎交付の内容

①投下固定資産等奨励金

(初年度のみ・事務業務オフィスは除く)

対象となる事業所の開設日の翌年1月1日現在における投下固定資産額と、開設日から1年間の土地、建物、設備機器賃料の合計額に、下表の交付率を乗じた金額の合計額

区分	奨励金交付率		交付限度額
	投下固定資産	賃借料	
開発拠点等	1/10	1/3	1,000万円
本社機能	1/10	1/10	1,000万円
本社機能+開発拠点	1/10+1/10	1/3+1/10	2,000万円

②雇用奨励金(3年間)

開設日から1年経過した日の新規雇用者数に下表の奨励金額を乗じて得た額
2年経過日、3年経過日も前年度より増えた人数に応じて交付

交付対象	新規雇用者数	奨励金額	交付限度額
開発拠点 または 本社等	5人以上 政令市・中核市を除く 市町村:3人以上	1人につき30万円 雇用者が県内教育機関の新卒者 である場合は60万円	1,000万円 × 3年
事務業務 オフィス	10人以上 政令市・中核市を除く 市町村:5人以上	1人につき30万円 雇用期間の定めのある労働者 の場合は15万円	500万円 × 3年

◎交付手続き等の流れについて

	開設前	開設後
時期	交付対象事業所の指定申請・指定 事業所開設の30日前まで	投下固定資産等奨励金申請・交付 開設の翌年4月1日以降
提出書類	1.「奨励金交付対象事業所指定(変更)申請書」(様式第1号) ※添付書類 ・事業計画書(様式第2号) ・企業の概要を明らかにする書類 ・事業所の図面 ・最近3年分の事業報告書及び決算書 ・登記事項証明書及び定款の写し ・その他果が求められるもの	2.「投下固定資産等奨励金交付申請書」(様式第4号) ※添付書類 ・開設日の翌年の1月1日における固定資産評価証明書 ・開設日から起算して1年間の土地賃借料、建物賃借料、設備機器賃借料にかかる賃借契約書の写し
		3.「雇用奨励金交付申請書」(様式第5号又は様式第8号) ※添付書類 ・常時雇用者一覧表(様式第6号)または雇用者一覧表(様式第9号) ・雇用状況を確認することができる書類 ・雇用保険への加入状況を証する書類 ・その他果が求められるもの

プロフェッショナル人材戦略拠点

大手から中堅、小規模の人材紹介事業者(登録事業者約40社)を一同に集めた求人ニーズ説明会をご活用頂けます。

宮城県では、県内に立地いただいた企業に対し様々な支援を行っています。

Open Innovation みやぎ

Open Innovation みやぎは、ICTに関連した施策情報の周知と、企業間の交流促進を目的とした、宮城県が運営するポータルサイトです。県内のIT企業の情報、デジタル化の取組事例、行政・団体からのお知らせを掲載しています。目的に応じた企業検索、情報発信、情報収集ができますので、生産性の向上や販路拡大、新事業立ち上げなどに活用していただけます。



企業情報を掲載いただける
県内IT企業様を募集中！(掲載無料)



一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA)

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会(MISA)は、宮城県内における高度情報化の促進を図り、地域社会・経済の発展に寄与することを目的に、平成8年12月に任意団体として発足、平成13年4月より社団法人(現在は一般社団法人)として活動しています。

会員数は、令和6年1月現在、県内の情報サービス関連企業をはじめとして、240を超えており、全国的に見ても大規模の業界団体です。協会内に各種委員会を設置し、企業合同説明会、産学官連携会議など人材の確保・育成に関する事業をはじめとして、各種取組を行っています。

また、総会や賀詞交歓会では、数多くの会員企業等が参加し、会員内の交流も盛んに行われているほか、他産業・官・学・他団体などと連携・協力して地域の特性を活かした情報サービス産業の振興を図り、地域社会の発展に尽力しています。

これから県内に新たに拠点を開設される企業様と一緒に、ここ宮城県を盛り上げていけることを心待ちにしています！



教育機関での業界説明会



MISA賀詞交歓会



DX関連スタートアップの
新たな登竜門として
2024年にピッチコンテストを初開催！
宮城県はチャンスと活気に
あふれる地域です。





宮城を拠点にグローバルなビジネスを展開



アクセント株式会社
テクノロジーコンサルティング本部 データグループ 兼
アクセント・アドバンス・テクノロジーセンター仙台
センター長 マネジング・ディレクター

菊地 文人さん

“働きやすく、住みやすい”ポテンシャルを活かして

AIの活用やDXの需要が高まっている中、業務の拡大を見据え、私たちがいち早く注目したのが宮城県でした。東北大学をはじめとして優秀な人材が多いことはもちろん、開設までの支援が充実していたことも拠点開設の大きな決め手になりました。現に村井知事をはじめとした地域のキーマンに支えられ、地元の関係団体や教育機関とも連携しやすい環境をつくっていただいたことで、スムーズに地域に入っていくことができました。

当社では、各拠点が異なる特色を持っていますが、仙台オフィスではデータ分析やAIを軸に、トップクラスの拠点を目指し、宮城県から全世界に向けてビジネスを展開していきたいと考えています。ここではグローバルな仕事ができるだけでなく、地域に関わる仕事も可能です。“働きやすく、住みやすい”という好条件のためか、女性社員も非常に多く、2024年夏頃には移転して拠点を拡大する予定です。

当社でも、地域、ひいては日本に貢献したいという思いを持つ社員が年々増えているように思います。そういった想いを大切にすると同時に、社員一人ひとりが働きやすい環境づくりも進め、地域においても東京と同等の環境を用意しています。また、デジタル人材の育成を通じて地域を元気にすることを使命に、まずはここから始めていきたいと思っています。

アクセント株式会社 アクセント・アドバンス・ テクノロジーセンター仙台

- 所在地:宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ3F
- 開設:2023年6月
- 主な業務内容:
企業のさらなるデータ、AI活用を促すソリューション開発、人材の育成、大企業が抱えるレガシーシステムの刷新、DXの加速支援など
- 本社所在地:東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR

地元で根差した事業所を目指します



株式会社NSD
取締役専務執行役員 営業統括本部長 矢本 理さん

東京から新幹線一本でアクセス可能

これまで大都市の拠点を中心に事業を行ってきましたが、特に首都圏での人材確保が難しくなってきたことなどが、進出の背景です。

東北の中心である仙台には、あらゆる機能が集まっています、得意先にも程近く、企業活動がしやすいと考えたこと、また、地元で働きたい優秀な人材がいることが、立地の決め手です。もちろん復興の力になればという想いもありました。パートナーとなるIT企業が集積していることや、東京と仙台が新幹線一本で結ばれていて、いざというときに面と向かってコミュニケーションを図れることも大きな魅力です。

仙台事業所では主に金融や産業系のシステム開発や社会インフラ構築を行っています。人材獲得は順調で、2023年11月には当初予定になかったオフィスの拡張を行いました。当社の新卒採用は全社ベースで男女比率がほぼ同じで、キャリア採用も積極的に行います。また、当社では社員を家族のように育てていく文化があり、その甲斐もあって離職率も3%程度と非常に低い水準です。地元企業の一員として、新たな可能性に満ち溢れた人材を育てていければと考えています。

仙台事業所は当社が数十年ぶりに開設した地方拠点であり、そこにかかる思いは非常に大きいものがあります。今は東京の仕事をメインに受けていますが、今後はぜひ地元企業の仕事を担いたいと考えています。ソフトウェア開発だけでなく、より幅広い人材を集め、DXコンサルの分野でもお役に立てるよう、体制を充実させながら挑戦を続けていきます。

株式会社NSD 仙台事業所

- 所在地:
宮城県仙台市青葉区中央1-3-1AER(アエル)
- 開設:2022年8月
- 主な業務内容:システム開発事業
- 本社所在地:東京都千代田区神田淡路町2-101

宮城県は人・ビジネス・企業ともに元気



株式会社SHIFT 広報IR部 広報室 金井 高子さん

強い地元愛で社会に貢献へ

人材は企業の根幹です。当社では日本全国に可能性のステージを広げようという想いから、人・企業ともに活発な宮城県にビジネスの可能性を感じ、2022年4月に仙台オフィスを開設しました。

人材採用に関しては、予想以上に順調です。大学や専門学校が多く、未来の技術者の卵はもちろんのこと、優秀な人材が多くいるという点は宮城県の大きな魅力だと思います。皆さん地元に対する愛情が深く、地元にさらに盛り上げ、社会に貢献したいという気概を持って働いています。自然が豊かで暮らしやすい一面もあるからでしょう。新規採用者だけでなく、東京・大阪に勤める社員の中にも、宮城県やその周辺にUターンやIターンを希望する者がいたほどです。

当社はソフトウェアの品質保証、テストを主力事業として成長してきましたが、最近は企業への総合的なDX推進支援なども行っており、エンジニア以外にも未経験者をふくむ多様な人材が活躍しています。居住地に関わらず全国のプロジェクトに参加できる環境を整備しており、仙台に在住しながら本当にしたい仕事に取り組むことが可能です。また、社内には部活動などのコミュニティが数多くありますが、仙台オフィス開設をきっかけにランニング部が東京から仙台国際ハーフマラソンへ参加したという例もありました。今後、仙台オフィスにもたくさんのコミュニティが生まれるだろうと期待しており、全国の従業員同士で活発な交流ができることを楽しみにしています。これからは社員ひとりひとりの声を聞きながら、それぞれが日々やりがいを実感できるよう、会社として全力でサポートしていきたいと考えています。

株式会社SHIFT 仙台オフィス

- 所在地:
宮城県仙台市青葉区本町2-15-1 ルナール仙台
- 開設:2022年4月
- 主な業務内容:ソフトウェアの品質保証、テストおよびDX推進支援など
- 本社所在地:東京都港区麻布台一丁目3番1号

BCPの観点からも重要な一大地方拠点



GMOインターネットグループ株式会社
アクセス事業本部 マネージャー 大崎 孝弘さん

地元社員は心強いパートナー

事業を拡大するにあたって、他の拠点が西日本に集中しており、大きな災害や感染症に備える事業継続計画(BCP)の観点からも東日本での拠点整備が必要だったことから、2020年11月に仙台にオフィスを開設しました。

東北の中心都市であり、労働人口や学校が多く、地域のポテンシャルが高いことから仙台を選びました。宮城県の人材は、真面目でルールを守り、謙虚な人が多いことが特徴だと感じています。食べものも美味しく、住みやすい環境も魅力です。

採用については、計画通りというよりも、当初の計画をはるかに上回る人材を集められました。そのおかげで、当社グループでは地方に根差す重要な戦略的拠点になっています。

福利厚生では、お弁当無料提供やフリードリンクコーナーの設置など、働きやすい環境づくりに努めています。また、社長自身がDJブレイを趣味にしていることもあり、仙台オフィスには会社公認の「DJ部」が設けられ、月に一度の社内イベントで力を発揮するなど、活気のある職場ですね。

仙台オフィスでは自社商品に関するカスタマーサービスや、お客様対応を踏まえた商品の品質改善を行っていますが、今後はAIを導入して効率性を高める一方で営業分野にも力を注ぐなど、仕事の質も変えていきたいと思っています。

GMOインターネットグループ 株式会社 仙台オフィス

- 所在地:宮城県仙台市
青葉区本町1-1-1 大樹生命仙台北本町ビル15F
- 開設:2020年11月
- 主な業務内容:GMOとくたくBBのカスタマーサポート、品質改善、電話・メールでのサポート対応など
- 本社所在地:東京都渋谷区桜丘町26番1号
セルリアンタワー4~14階:総合受付11階

チャンスと 活気に あふれる地、宮城県



宮城県の情報通信関連企業立地ガイドをご覧いただき、ありがとうございます。
います。

本格的な人口減少局面を迎える中、デジタル技術を活用した地域課題の
解決や活力創出がますます重要なものとなっています。

宮城県では、雇用機会の創出や、デジタル化・DXによる地域課題の解決
に向け、情報通信関連企業の皆様の進出を積極的にご支援しています。

我が県は、東北唯一の政令指定都市である仙台市を擁し、首都圏からの
アクセスの良さ、充実したオフィスビル環境、過ごしやすい気候など、働く環
境・住む環境の両面で非常に魅力のある土地です。そして何より、東北大学
をはじめとした多くの教育機関が集積しており、地元で働きたい優秀な
若い人材がたくさんいます。

近年では、東北大学青葉山新キャンパス内での次世代放射光施設「ナノ
テラス」の運用開始や、JSMC株式会社による半導体製造工場の建設が決
定しました。また、DX関連スタートアップの登竜門としてピッチコンテストも
開催されるなど、宮城県はチャンスと活気にあふれる地域です。

宮城県に進出される企業様を、私たちはご検討の段階から立地後まで
しっかりと支援させていただきます。

ここ宮城の地でお会いできますことを、心より楽しみにしております。

宮城県知事 村井嘉浩

—お問い合わせ先—

●宮城県企画部産業デジタル推進課

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1 宮城県庁3階
TEL(022)211-2479
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sangyod/>
E-mail:sandigi2@pref.miyagi.lg.jp



●宮城県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目6-3 都道府県会館12階
TEL(03)5212-9047
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/tokyoz/>
E-mail:tokyo-ki@pref.miyagi.lg.jp



●宮城県大阪事務所

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目3番1-900号 大阪駅前第一ビル9階
TEL(06)6341-7905
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oosakaz/>
E-mail:oosakaz@pref.miyagi.lg.jp



●宮城県大阪事務所名古屋産業立地センター

〒460-0022 名古屋市中区金山一丁目12番14号 金山総合ビル5階
TEL(052)331-7461
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oosakaz/nagoyailc.html>
E-mail:nagoyailc@pref.miyagi.lg.jp



リサイクル適性 A

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



このパンフレットは200部制作し、
1部当たりの単価は約400円です。
2024年3月製作

